

募集  
要項

# 第15回 葺賞瓦屋根設計コンクール

## 瓦屋根設計コンクール 葺 iraka 賞

「瓦」(かわら)が歴史上、初めて登場したのは約2,800年前の中国といわれ、日本にはおよそ1,420年前の西暦588年に百済から仏教とともに伝来し、飛鳥寺で使われたのが初めてとされています。

その後、日本において「粘土瓦」は優れた特性と造形美により受け継がれ、屋根材料として広く普及し、長い間、日本の美しい風景をつくりだす重要な要素の一つとして、必要不可欠な存在として歴史を刻んできました。

瓦葺き屋根の並ぶ光景は、まさに伝統的な日本ならではの美しい街並みの特徴づけるものであります。

私どもは、この素晴らしい素材「粘土瓦」が生むさらなる建築美を求め、数年に一度、「粘土瓦」を使用した建築物や建造物の優れた実施例を表彰する「葺賞」を開催しております。

皆さまの自由な発想で現代に放つ、粘土瓦の新たな魅力との出会いを楽しみにしております。

### ■募集期間

平成23年2月1日～4月30日(4月30日消印有効)

### 第14回 金賞受賞作品



主催 / 全国陶器瓦工業組合連合会 (社) 全日本瓦工事業連盟



# 第15回 瓦屋根設計コンクール

# 葦 iraka 賞

## 募集要項

### ■課題

国内産粘土瓦を屋根又はその他の部位に使用した建築設計や環境デザインの優れた実施例で、応募時点において完成後1年以上(7年以内まで)経過している建築物及び構造物で、「住宅」「一般」の部門別に審査します。

- 住宅部門(一戸建、併用住宅、集合住宅等)
- 一般部門(屋根以外の新分野使用・環境デザイン等を含む)

建物の様式、大小、瓦の産地、形状等は制約いたしません。すでに発表されている作品でも結構ですが、過去の葦賞に応募されました作品の再応募は出来ません。

### ■募集対象

設計事務所及び設計者  
(一般部門は、作品を実質的にデザインした者を含む。)

### ■募集期間

平成23年2月1日～4月30日(4月30日消印有効)

### ■提出物 以下のものを送付してください。

- (1)応募カード  
応募者情報と併せてコンセプト、PRポイント等をご記入ください。  
応募カードを基に事務処理をいたしますので、正確に全ての項目を記載ください。
- (2)設計図面  
平面図、立面図、屋根伏図、配置図、瓦施工ディテール等をA3横サイズ5枚以内にまとめて、ご提出下さい。
- (3)建物及び構造物のカラー写真  
作品の内容が良くわかる写真2～5点程度をA3横サイズ1枚にまとめて、ご提出ください。

※一般部門の環境デザインに関しては構造物の応募に準じて、応募カードの記載、設計図面、カラー写真をご提出ください。

(図面がない場合は省略可)

※応募作品の著作権は、応募者に帰属します。ただし、主催者および後援者が本コンクールの趣旨に基づいて作品発表、PR等に利用する場合には、応募者は無償でこの使用を認める事とします。

※応募者の個人情報適切に管理いたします。

※応募作品は一切返却いたしませんので、必要な場合は予め複製しておいてください。

- 募集要項・応募用紙は下記ホームページからもダウンロードできます。  
葦賞事務局(愛知県陶器瓦工業組合) <http://www.kawara.gr.jp/>  
全国陶器瓦工業組合連合会 <http://www.zentouren.or.jp/>

### ■応募作品提出先

葦賞事務局 〒444-1323 愛知県高浜市田戸町一丁目1番地1  
全国陶器瓦工業組合連合会高浜事務所内  
[TEL] 0566-52-1200 [FAX] 0566-52-1203  
[E-mail] info@kawara.gr.jp

## 賞

- 金賞(2点)  
国土交通大臣賞(住宅) 賞状および・副賞50万円  
経済産業大臣賞(一般) 賞状および・副賞50万円
- 銀賞(1点) 賞状および・副賞20万円
- 銅賞(1点) 賞状および・副賞10万円
- 景観賞(1点)  
日本屋根経済新聞社賞 賞状および・副賞10万円
- 佳作(10点程度) 賞状および・副賞3万円

※各入賞作品の瓦施工業者には感謝状を授与します。  
※賞金額・受賞点数については作品の審査結果により変動する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 審査委員 (敬称略)

委員長	森 暢郎	(日本建築学会副会長/㈱山下設計取締役会長)
委員	栗生 明	(日本建築家協会/千葉大学大学院教授)
委員	内田文雄	(日本建築士会連合会/山口大学大学院教授)
委員	土井良治	(経済産業省製造産業局住宅産業課課長)
委員	松本大樹	(国土交通省総合政策局建設市場整備課長)
委員	山田勝雄	(全日本瓦工事業連盟理事長)
委員	杉浦勝典	(全国陶器瓦工業組合連合会理事長)
委員	佐々木賢一	(全国陶器瓦工業組合連合会副理事長)
委員	福原幸蔵	(全国陶器瓦工業組合連合会副理事長)

## 発表

平成23年6月下旬～7月頃(予定)  
(審査の結果は入賞者に通知するとともに、日本屋根経済新聞等で発表します。)

## 表彰式

平成23年8月30日 東京田町 建築会館  
(金、銀、銅、景観 受賞者は、必ずご出席を願います。)

## 展示会

平成23年8月27日～8月31日まで  
建築会館ギャラリーにて入賞作品の展示を行います。

### 主 催

全国陶器瓦工業組合連合会 (社)全日本瓦工事業連盟

### 後 援

経済産業省 国土交通省 (社)日本建築学会 (社)日本建築家協会  
(社)日本建築士会連合会 (社)日本建築士事務所協会連合会  
(社)日本建築美術工芸協会 全国いぶし瓦組合連合会  
(株)日本屋根経済新聞社